

# 平成30年度 事業報告

平成30年度は、県内の景気が着実に回復を続けていることから、当地域の雇用情勢も持ち直しの動きが見られ、妙高市内の有効求人倍率は昨年度から続いて2倍を超える高い水準が維持されました。一方、当センターでは、定年延長や雇用延長、定年後の生き方の多様化などで、シルバー会員が不足するという状況が見られます。また、適正就業の推進で、請負事業の低迷が深刻になっています。

このような中、新規会員の確保に向けて、募集チラシやポスターの配布、街頭PR活動の実施、就業情報の発信、市報への広告掲載、マスコミを通じた募集、会員による口コミ募集、1月～3月の会費無料キャンペーンなどを実施するほか、センターのイメージアップに向けた体験事業や出張相談PR活動などに取り組みました。

契約額は、適正就業の推進で請負契約から派遣契約への移行交渉に伴う契約解除や受注減少などで前年度を大きく下回る厳しい結果となりました。また、平成26年度からスタートし、右肩上がり伸びてきた派遣事業は、前年度実績にわずかに及ばなかったといった状況です。

安全就業面では、刈払機の安全講習会に始まり、剪定講習会、冬囲い講習会のほか、安全パトロールの充実に取り組みました。一方、事故発生件数は、前年比で半減したものの、草刈中の賠償事故が2件発生したことから、すべての班に飛石防止ネットを配備するなど、対策の強化に努めました。

就業開拓面では、昨年度に引き続いて部員による約100件の事業所訪問を実施し、就業情報の収集や受注提案などによる開拓活動を行いました。

また、昨年度から3年継続で取り組んでいる人材育成と普及啓発を目的とした積立金活用計画では、8月の普及啓発月間、きらめきアップセミナーや七宝焼き体験教室、門松づくり体験教室の開催、就業情報の発信、先進地視察の実施など、新規事業に取り組みました。

地域貢献事業としましては、例年どおり経塚山公園の清掃ボランティアを今年度も実施しました。秋の新井別院境内の清掃は雨天のため中止しましたが、新規で妙高地域の「妙高ふるさとまつり」会場準備にボランティアで参加し、シルバー人材センターの存在をアピールすることができました。

今後も、だれからも信頼されるセンターとさらなる組織の強化を目指し、会員と役職員が一体となって邁進していくようご協力をお願いし、平成30年度の事業報告といたします。

請負・委任の事業実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	平成30年度実績	平成29年度実績	前年度増減	前年度比
会員数	366 人	360 人	6 人	1.7 %
受託件数	2,261 件	2,267 件	△ 6 件	△ 0.3 %
就業延日人員	24,055 人	26,710 人	△ 2,655 人	△ 9.9 %
配分金額	104,554,963 円	110,680,286 円	△ 6,125,323 円	△ 5.5 %
契約金額	119,428,152 円	125,726,986 円	△ 6,298,834 円	△ 5.0 %

派遣事業の実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	平成30年度実績	平成29年度実績	前年度増減	前年度比
派遣登録会員数	130 人	107 人	23 人	21.5 %
受注件数	46 件	38 件	8 件	21.1 %
就業延日人員	6,555 人	6,882 人	△ 327 人	△ 4.8 %
賃金額	25,430,497 円	26,093,998 円	△ 663,501 円	△ 2.5 %
契約金額	32,741,860 円	33,295,288 円	△ 553,428 円	△ 1.7 %

請負・委任と派遣事業の合計実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	平成30年度実績	平成29年度実績	前年度増減	前年度比
配分・賃金額	129,985,460 円	136,774,284 円	△ 6,788,824 円	△ 5.0 %
契約金額	152,170,012 円	159,022,274 円	△ 6,852,262 円	△ 4.3 %